渉外担当理事　馬場建彌

ＪＣＩ八女が設立以降、時代の社会変化に適応した対外事業を行い、個人の成長や進化とともに地域発展に貢献してきました。コロナ禍後の社会は劇的に変化し、八女地域が抱える課題に対し、更なる効果を求め変化に適応した事業を通じて課題解決や地域発展につなげるために、行政や各種団体と指針や課題を共有することで連携を図り、ベクトルを同じ向きにして社会変化に適応した事業展開を行う必要があります。

まずは、渉外担当理事としてこれまで受け継がれてきた伝統行事であるちびっこ相撲に多くの小学生に参加していただくために、八女相撲連盟とこれまでを振り返り反省点を踏まえて、小学生の成長機会となる活気のある相撲大会が開催できるよう連携して事業を行います。そして、八青連会議では各種団体と連携して明るい未来を創れるように強固な関係を築きます。さらに、会員拡大連絡会議では会員拡大に向けて活動するメンバーをサポートしつつ、自らが参画し、今後のＪＣ活動が大きな規模で影響力のある事業展開ができるよう、会員拡大に向けて共に活動していきます。また、本年度６５周年という節目の年を迎え、今までのＪＣＩ八女の活動や運動を広く伝播し、ＪＣＩ八女の存在意義を再認識していただく機会にします。そして、次の７０周年に向けて社会変化に適応した事業を行うために、行政や各種団体との連携窓口として地域課題や今後の方針、ＪＣＩ八女に求めることや意見の情報交換を密に行い、八女地域の課題や指針を共有することで明るい豊かな八女地域を創ります。

これからも地域に必要とされる組織となるために、行政や各種団体や市民との関係をより一層深め、会員拡大や社会変化に適応したＪＣＩ八女の活動や運動を通して影響力のある団体へと成長し八女地域をより良い未来へと変えていきます。